

**“いて欲しい国、いなくては困る国、日本”の  
実現に向けて**

**代表幹事 櫻田 謙悟**

# I . 世界および日本の 経済社会の現状認識

## II . 目指すべき日本の姿

## III . 経済同友会が果たすべき役割

V

Volatility  
(不安定)

U

Uncertainty  
(不確実)

C

Complexity  
(複雑)

A

Ambiguity  
(曖昧)

## 【世界】

- ・グローバル化、デジタル化  
⇒所得格差、ポピュリズム、自国優先主義
- ・米国、欧州、アジアのパワーバランス変化  
⇒米中の覇権競争

## 【日本】

- ・少子高齢化、生産性革新などの後れ  
⇒低成長、財政や社会保障の持続可能性  
への懸念

## デジタル技術進化の影響

- 産業や社会のあり方が革命的に変化
- 「インプット主義」から「アウトプット主義」への転換と働き方改革の遅れ



日本の生産性は、国際的に低い状況

I . 世界および日本の  
経済社会の現状認識

**II . 目指すべき日本の姿**

III . 経済同友会が果たすべき役割

“いて欲しい国、  
いなくては困る国、日本”

- 国際社会から真の信頼を得て、平和と繁栄に貢献する国  
⇒コア・コンピタンス（強み）
- 世界から多様な人材を惹きつける国  
⇒グッド・クラッシュ（知の衝突）

## <優先すべき変革>

1. 生産性向上に向けた企業の自己変革
2. モノカルチャー・同調性志向からの決別
3. 挑戦の結果としての失敗を恐れない  
日本人の意識改革

I . 世界および日本の  
経済社会の現状認識

II . 目指すべき日本の姿

III . 経済同友会が果たすべき役割

# “Do Tank”としての経済同友会へ

「開かれた行動する政策集団」

“Think Tank”にとどまらない“Do Tank”への進化

- 経営者としての実行・実践、行動変革を促す伝道者
- 多様なステークホルダーとの対話・連携の「エコシステム」

## 注力すべき政策課題

「グローバル」、「サービス」、「スタートアップ」

## 組織運営の改革

1. 若手経営者の活躍推進
2. 発信力の強化  
(プロアクティブ、レスポンシブ)
3. 多様な意見に基づく熟議の促進